

ほほえみの郷トイトイファミリー

ほほえみの郷トイトイの取り組みの中で活躍する「トイトイファミリー」。年齢や住んでいる地域も異なるが、当団体のほほえみの郷トイトイ構想「地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」という目標に共感し、日々さまざまな活動・業務を通じて地域とかがわるときに心がけていることは何か？をピックアップ。



これからもほほえみの郷トイトイは「地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズに、阿東地福地域から地域づくりを通じて、誰もが幸せになれる物語をつむぎ共感の輪を広げ、地域に安心・安全・笑顔の種をまき、5年、10年、20年先も地域が心身ともに健康である（ウェルビーイング）でありつづけるような活動をすすめてまいります。



ほほえみの郷トイトイ10周年イベントにて、多様な形で阿東地域に関わる方々と未来を考える



特定非営利活動法人 ほほえみの郷トイトイ

地域の絆でつくる
笑顔あふれる
安心の故郷づくり



お問い合わせ先はこちら

ほほえみの郷トイトイ

Search

ほほえみの郷トイトイ
NPO法人ほほえみの郷トイトイ 地福
お問い合わせ ☎ (083)952-1800
〒759-1421 山口県山口市阿東地福1886-1

※阿東地福地域 重要無形民俗文化財「トイトイ」わら馬

Web・SNSへのアクセスはQRコードより

ホームページ



Facebook



Instagram



法人名 特定非営利活動法人 ほほえみの郷トイトイ

設立年 平成24年1月1日

(平成26年4月1日より法人登記)

代表者 理事長 長安 正己 (ながやす まさみ)

事務局長 高田 新一郎 (たかた しんいちろう)

組織 役員数9名(理事7名・監事2名)、会員数28名

連絡先 Email: hohoeminosato@gmail.com

URL : http://jifuku-toitoy.com

制作 山口市地域おこし協力隊 松戸 基緒美 (まつど きおみ)

「ほほえみの郷トイトイ」とは

「地域唯一のスーパー撤退」により、地域に不安が広がったが「不安を安心にかえるため、地域に必要なものはなにか」を考え、地域の「小さな拠点」としてほほえみの郷トイトイが誕生。当団体を核に、住民主体の課題解決のしくみづくりをスタートさせ、地域ニーズをもとに課題解決のための事業構築に取り組み、ソーシャルビジネスとして確立することで持続可能な地域運営を目指す。2022年度から地域の持続性の向上のため、地域のリ・デザインプロジェクトを開始し、新たなチャレンジを始める。

地福ほほえみの郷構想

「地域の絆でつくる、笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズに、地域のよりどころとなる拠点を整備、将来にわたって地福地域が安心して生活でき、誇れる地域づくりを目標とする。
高齢者の方々、団塊の世代、子育て世代さまざまな世代の方々が抱える不安を、ともに地域で共有し知恵を出し合いながら、協働により解決していくことで、誰もが笑顔で安心して暮らせる地域づくりを目指す。



地域概況

- ▼地福地域人口1,014人、591世帯、高齢化率約60%（2024年1月）
阿東地域全体人口4709人、2610世帯、高齢化率約60%（2024年1月）
- ▼地福地域を含む旧阿東町域は、中国山地に囲まれた複数の集落からなる中山間地域、山口市中心部からは車で約40分
- ▼2005年に1市4町による「山口市」誕生の後、旧阿東町は2010年に編入合併
- ▼令和6年以降も人口減少および少子高齢化は年々加速している



取組内容

地域内交流拠点TOiTOiの運営

▼ミニスーパーTOiTOi

トイトイ工房の手作りお惣菜をはじめ、日常に必要な食料品・日配品のお買い物ができるミニスーパーとしての機能備えている。産直野菜コーナーには地域の方が栽培した新鮮な野菜が出荷され、お惣菜コーナーには毎日愛情のこめられたできたてのお惣菜が並ぶ。同ミニスーパーはスーパーとしてだけではなく、地域交流・情報交換の場としても機能しており、訪れた人の「笑顔」も自然とならぶスーパー。



新鮮な産直野菜の出荷
四季折々の野菜が並ぶ



地域の女性が活躍する
トイトイ工房

▼交流スペースTOiTOi

毎週水曜日・金曜日に交流スペースで「いきいき百歳体操」を実施。健康的に年齢を重ねるためのフレイル・介護予防をしながら、地域の方々の集いの場となっている。2018年度には地域の子供たちが育てたお米を使って、ひとり暮らしの高齢者の方と核家族の子供たちとの交流をはかる地域食堂も開催した。市の健康づくり事業の一環としてイベントを開催し、コロナ禍以降途絶えていた地域集いの場の形成も図る。子供から大人、高齢者まで幅広い年齢層が利用し、さまざまな形で交流スペースは活用され、地域コミュニティの輪を形成する場所となっている。



体操でフレイル・介護予防
体も心も元気に！



子供たちが育てたお米
集いの場で振舞う



移動型地域拠点（キッチンカー）
FOOD TRUCK ATO運営



憩いの場に咲く「笑顔」
地域コミュニティの形成

移動販売車トイトイ号の運営

▼地域に安心と安全、笑顔を届ける販売車

月曜日から金曜日の週5日、阿東地域内各所（地福・生雲・篠目・徳佐・嘉年の5集落と、徳地地域）を巡回する移動販売車トイトイ号。トイトイ工房の手作りお惣菜をはじめ、田舎のパン屋さんの手作りパン、食料品から日配品まで幅広い品を携え、移動販売車を楽しみに待つ地域の方のため、雨の日も雪の日も走る。
買い物支援はもちろんのこと、日々販売員として対応する中で地域の方の暮らしを見守り、暮らしの安全・安心を届ける役割も担う。いつ誰が販売員として乗車しても、地域の方の暮らしの様子などの情報共有ができるように、スマートフォン端末経由で情報を管理するなどの工夫を行っている。移動販売車トイトイ号は商品を売りにいくのではなく、お買い物という限られた時間の中ではあるが、地域の方との会話・コミュニケーションを大切に、地域の方へ笑顔や安心を届けられるよう心掛けている。



2021年度からの新たな取組

▼ワーケーション実証、企業との連携など

2021年度からテレワークをしながら阿東での田舎暮らしを体験してもらおうワーケーションの実証も開始。パンブーバイクやキッチンカー販売体験など、ここでしかできないアクティビティを提供・実施。
企業連携で地域課題の解決を図る取り組みも開始。自動草刈りロボットを用いることで、人的草刈りの負担減少や人手不足の緩和を図る。日々さまざまな最先端技術を用いて、さまざまな地域課題の解決に取り組む。



都会でできない体験を阿東で
参加者の満足度も高い



りんご園での自動草刈りロボットの試験的な実証実験

これまでの取り組みの軌跡





2010
地域唯一のスーパーが撤退

2012.4
地域交流拠点の再生
・ミニスーパー機能
・交流スペース
・野菜の出荷の仕組み

2013.3
移動販売車トイトイ号の運行開始

2013.5
手作りお惣菜の製造するトイトイ工房開始

2013~2014
高齢者向けタブレット講座

2013~
地域イベントへの協力・子供たちの体験など

2016
介護予防事業
元氣いきいき広場開設

2017~2018
空き家活用プロジェクト
コワーキングスペースの誕生

2018
トイトイ交流スペースで
定期的な地域食堂の開始

2019
地域モビリティ検討

2019
移動販売車2台目の導入

2021~
企業との連携による
地域課題解決

2021~
ワーケーション実証